

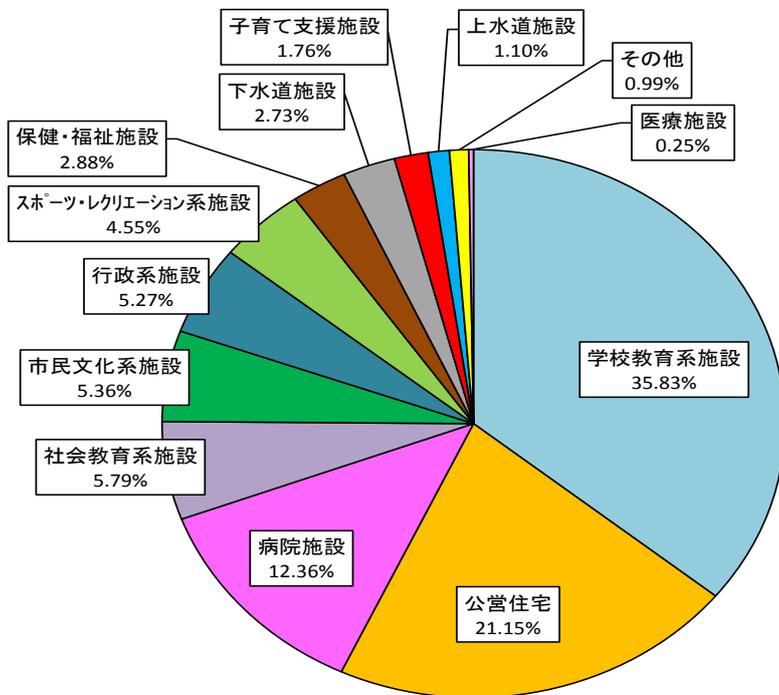
# 津島市公共施設等総合管理計画について

高度経済成長期に集中的に整備された公共施設等の老朽化が、全国的に大きな社会問題となっています。こうした状況は本市においても同様であり、今後、厳しい財政状況が見込まれる中、多くの公共施設等が、修繕や更新時期を迎えます。少子高齢化・生産年齢人口の減少に伴う人口構造の変化や税収の減少に対応していくことが必要となるため、中長期的な見込みを立てた上で、更新・統廃合・長寿命化を実施していくための公共施設等総合管理計画を策定しました。

策定にあたっては、施設を所管する課長を構成員とした庁内会議を開催し検討を重ね、計画案についてパブリックコメントを実施しました。

## 1 ◆公共施設等の現況

### (1) 公共建築物の整備量



平成 28 年 3 月末日時点で本市が所有する公共建築物のうち、本計画の対象となる床面積が 50 m<sup>2</sup>以上のものは、施設数が 120 施設、棟数が 527 棟、延床面積が約 23.8 万 m<sup>2</sup>となっている。

大分類別に見た公共建築物の延床面積の割合は、学校教育施設が約 35.83%で最も多く、公営住宅が約 21.15%と続き、この 2 分類で全体の半分以上を占める。

本市の特徴として、公営住宅が 20%以上、病院施設が 10%以上の高い割合を占めています。

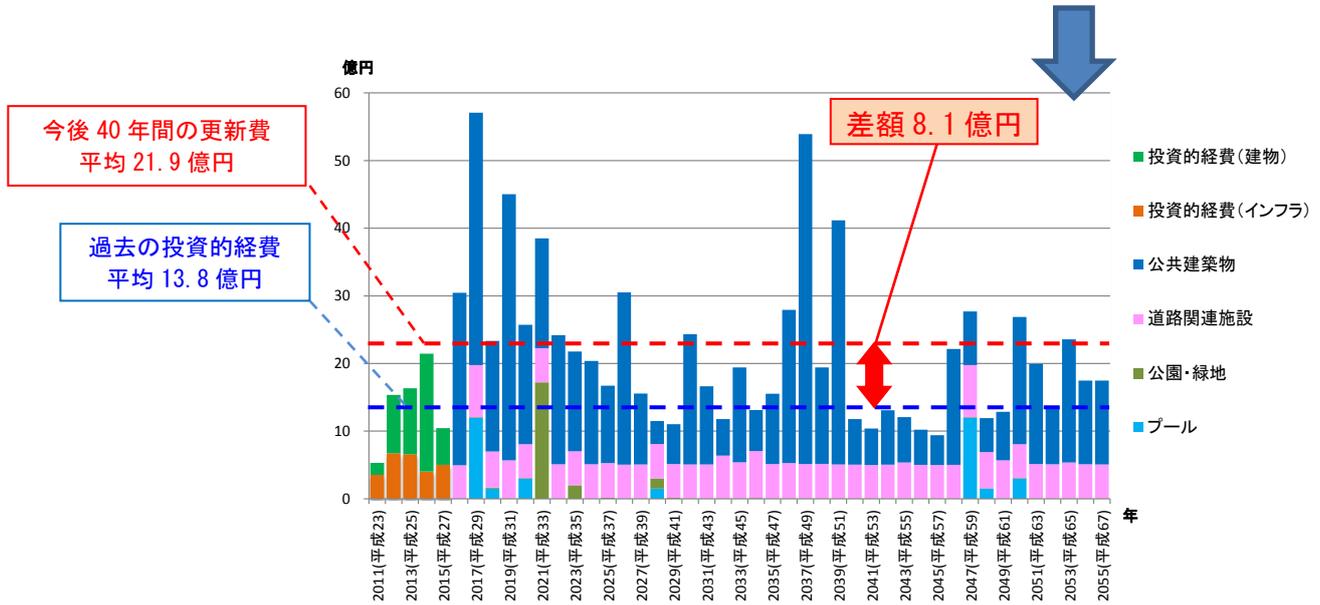
### (2) インフラ施設の整備量

種 別	総整備量	種 別	総整備量
道 路	一般道路延長 477,694m	下 水 道	総延長 99,181m
	自転車歩行者道延長 28,501m		単独 29,471m
橋 梁	460 橋 (総延長 2,250.2m)		流域 63,509m
			コミュニティ・プラント 6,201m
公 園	298,100 m <sup>2</sup> (12 箇所)	上水道	417,532m
公共建物 (公園)	公園トイレ、倉庫等 19 棟	プ ー ル	総合プール 屋内 1 箇所
			屋外 1 箇所
児童遊園 など	54 箇所	道路 照明灯	1,059 基
		学校プール	10 箇所

## 2 ◆更新費用の試算

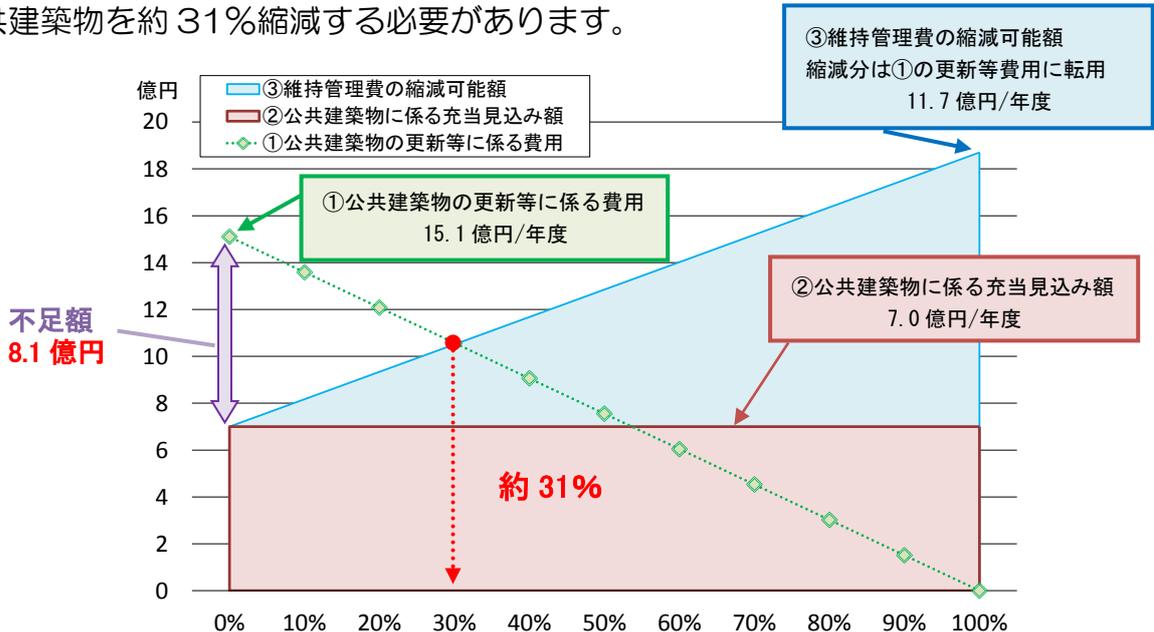
今後 40 年間に公共施設等の更新等に必要となる費用の試算（一般会計分）

総務省試算ソフトによる試算		公共建築物 耐用年数 60年→80年  生活道路 耐用年数 15年→30年  予防保全的 な管理	長寿命化等を加味した試算	
公共建築物	21.7 億円/年度 (総額 868.2 億円)		公共建築物	15.1 億円/年度 (総額 605.5 億円)
インフラ施設	9.8 億円/年度 (総額 391.6 億円)	インフラ施設	6.8 億円/年度 (総額 270.1 億円)	
計	31.5 億円/年度 (総額 1,259.8 億円)	計	21.9 億円/年度 (総額 875.6 億円)	
過去の投資的経費	13.8 億円/年度 (総額 68.9 億円)	過去の投資的経費	13.8 億円/年度 (総額 68.9 億円)	
不足額	▲17.7 億円/年度	不足額	▲8.1 億円/年度	



## 3 ◆縮減目標

今後 40 年間に於いて、不足額を解消し、財源とのバランスをとるためには、保有する公共建築物を約 31% 縮減する必要があります。



## 4 ◆ 公共施設等総合管理計画の基本的な方針

### (1) 計画期間

計画期間：平成 29 年度～平成 68 年度（40 年間）

市が現在保有している公共施設等を今後も維持すると仮定した場合、修繕や更新等に係る将来の費用は、約 20 年～40 年後にピークを迎えます。

これらの状況を見据えた長期的な計画とするため、計画期間を 40 年とし、地域の実情、社会情勢の変化などに対応して 5 年ごとに計画の見直しを行っていきます。

### (2) 公共施設等の管理に関する基本的な方針及び考え方

◎公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本方針を次のように定め、真に必要な公共施設等の持続的な提供を目指します。

- 基本方針①・・・計画的な維持・更新
- 基本方針②・・・施設総量・配置の最適化
- 基本方針③・・・公共サービスの効率化の推進

◎3 つの基本方針を踏まえ、7 つの基本的な考え方を示します。

- ① 点検・診断等の実施方針
- ② 維持管理・修繕・更新等の実施方針
- ③ 安全確保の実施方針
- ④ 耐震化の実施方針
- ⑤ 長寿命化の実施方針
- ⑥ 統合や廃止の推進方針
- ⑦ 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築

津島市公共施設等総合管理計画

平成 29 年 3 月